



学 校 便 り

＜本気・元気・根気＞

あきる野市立西中学校

学校便り 第8号

編集：副校長 柴崎美典

令和8年1月

一人一人の生徒に居場所がある学校を目指して

「自覚」と「褒め」の継続

年が改まり午年を迎えました。馬は前を向き、力強く駆け抜ける象徴です。生徒の皆さんも今年1年、馬のように颯爽（さっそう）と、そして粘り強く最後まで走り抜けてください。期待しています。

年度は替わらず令和7年度。そして最後の学期となりました。今年度の総仕上げの学期です。今年度、話してきたのは「学年それぞれの自覚」でした。その自覚を行動に現わすこと。そして「まずは自分で自分を褒められるように」でした。

ひとまず、2学期までに一人一人が「ある程度、完成させてきました」。

それを基に「仕上げ、るのは何か？ 難しい表現かも知れませんが、それは「西中の『教育の完成』」です。

そのために「自覚」を「行動」につなげるように話してきました。1年生の「完成形」は、中学生として一人前になって新入生の手本になることです。「手本になるためには自分ができなければならない」と自覚し、それを行動に移すことです。2年生の「完成形」は、西中を背負う力をつけることです。西中の代表を後輩に任せることはできません。あなたたちしかいないのです。西中の唯一無二の存在になるのです。そして3年生。現在の「西中の顔、である皆さんは、西中の教育の完成形に、今、最も近い学年です。1・2年生が絶対に超えることができない立派な存在です。

一人一人が前を向き、力強く駆け抜ける3学期にしてください。

社会で通用する人とは

1月12日は成人の日でした。4年前までは成人年齢が20歳でしたので、あきる野市はこの日、今年度20歳の人達をお招きし、二十歳を祝う会を催しました。

あきる野市児童合唱団からのかわいらしい歌のプレゼントで幕を開けました。式辞で中嶋市長は「信用」について述べられました。「約束を守る、時間を守ることが信用を築き、それには10年かかる。一度信用を得られれば、様々なことが円滑になるが、10秒で信用を損ねることもある。そして再び築くにはさらに10年かかる」といった内容でした。中学生にも聞かせたいお話でした。

高校入試に備えて

3年生の高校入試が始まり、早くも「合格しました」と吉報が職員室に届いています。2月の入試はより厳しさが増してきました。入試当日の得点力が求められるからです。特に1点が合否を左右する難関高校の受験者や、学習の苦手な生徒は、必死のラストスパートをかけていることでしょう。

得点力をあげる方法のひとつは、「過去問」に取り組むことです。特に学習に苦手な人たちへ。都立高校の「漢字の読み書き」と「計算・基本問題」を全問正解するだけで、それぞれ20点、46点も取れます！

さて、今回の文章に使われている漢字、全て中学校までに習う漢字の一覧表に載っているものです。全部読めますか？ 全部書けますか？

校長 川杉 稔

1年生スキー移動教室に行ってきました！

1月21日(水)～23日(金)に、長野県菅平スキー場で、スキー移動教室を実施しました。

日中はスキー講習で学び、夜は宿舎でレクリエーション「ミニミニ大運動会」で盛り上がりました。

全日程晴天に恵まれ、大変貴重な経験となりました。

3日間を仲間と過ごし、絆を深めることが出来ました。

帰宅後は家族にたくさん思い出話をしました！と声も上がっています。



あきる野市 30年 未来へ繋ごうトカイナカ

吹奏楽部 都大会進出！

第59回東京都中学生アンサンブルコンテスト
(令和8年1月24日(土))
府中の森芸術劇場どりーむホール)

打楽器八重奏 金賞受賞

『紅蓮の斜陽～8人の打楽器奏者のために～』
全415チーム中、上位22チームに選ばれ、都大会に進出します。応援よろしくお願いします！

第49回東京都アンサンブルコンテスト
令和8年2月8日(日)
府中の森芸術劇場どりーむホールにて 13:40本番

女子バスケットボール部

東京都中学校バスケットボール新人大会
第8ブロック 全20チームを勝ち上がり
都大会進出しました！

文京第八中 vs 西中 31-45

原宿外苑中 vs 西中 45-35

初戦を突破し、2回戦に進出しましたが、原宿外苑中に敗れ、都大会ベスト32という結果でした。応援ありがとうございました。

女子バレーボール部

ビギナーズカップ 総合2位！！

西中 vs 檜原中 25-22

西中 vs 小平六中 25-13

西中 vs 調布中 23-25

総合で2位を取ることが出来ました！
悔しい結果でしたが、よく頑張りました

3学期は移動教室や合唱コンクール、卒業式、修了式と慌ただしく過ぎていきます。子どもたちが一つ一つのことを丁寧に取り組めるよう、学校、家庭、地域それぞれの立場で子どもたちの成長を支えていけるよう、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



